

第1回教育委員会定例会議 会議録

1 日 時 平成30年1月24日(水)

開会 13時30分

閉会 14時20分

2 会 場 金沢市庁舎 2階 201会議室

3 出席委員(5名)

教 育 長 野 口 弘

教 育 委 員 田 邊 俊 治

〃 岡 能 久

〃 河 野 俊 寛

〃 大 島 淳 光

4 欠席委員(2名)

教 育 委 員 早 川 芳 子

〃 丸 山 章 子

事務局

教育次長(兼)学校教育部長

担当部長(兼)教育総務課長

教育総務課担当課長(兼)課長補佐

担当部長(兼)学校職員課長

学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐

担当部長(兼)学校指導課長

学校指導課担当課長(兼)課長補佐

市立工業高校事務局長

生涯学習部長

生涯学習課長

(兼)家庭教育振興室長

図書館総務課長

(兼)玉川図書館長

(兼)近世史料館長

(兼)城北分館長

教育プラザ総括施設長

(兼)地域教育センター所長

研修相談センター所長

山 田 啓 之

加 藤 弘 行

中 西 賢 治

川 口 勝

吉 田 圭 史

新 村 裕 二

村 田 昌 人

堂 岸 豊

鳥 倉 俊 雄

藤 木 由 里

村 田 英 彦

高 村 政 博

熊 谷 有 紀 子

5 案 件

非 議案第1号 教育委員会所管の委員会等の委員の委嘱等について (図書館総務課他)

報告第1号 中央地区における教育施設の再整備に係る検討状況について

(教育総務課)

報告第2号 第3回金沢市教育実践セミナーの開催について

(教育総務課)

報告第3号 平成29年度「金沢市いじめアンケート」の調査結果について

(学校指導課)

そ の 他

- (1) 平成29年度金沢市立工業高等学校卒業予定者の進路状況について
- (2) 次回の定例会議の日程について

6 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議あいさつに続いて、傍聴希望者2名について協議し、傍聴を許可した。次に、議事録署名委員として大島委員を指名した。本日の議題について野口教育長が議案第1号を非公開とするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。その後、事務局より教員の不祥事について報告があった。

審議に入り、報告第1号、報告第2号、報告第3号、その他(1)について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、2月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に議案第1号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

* 2月の定例会議の日程：平成30年2月21日(水) 13:30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

○ 教員の不祥事について

(説明の概要) 去る1月5日、金沢市立小学校の教員が窃盗容疑で逮捕された。本市の教育に対する信用を大きく失墜させる事案であり、被害に遭われた方、児童や保護者、地域の方々、そして市民の方々に深くお詫び申し上げる。この件に関して、学校では1月8日夜、保護者説明会を開催し、学校長から謝罪を行うとともに、事案の概要や経過、今後の対応について説明させていただいた。教育委員会では1月5日に臨時の校長会議を開催し、改めて教職員の綱紀粛正を促すとともに、服務規律の徹底のための校内研修や教職員との面談の実施を指示した。

また、1月9日の3学期始業式の日から、教育プラザの心理士2名を学校に派遣し、子どもたちの心のケアの対応を行った。現在、学校においては、保護者、児童、地域の方々の信頼回復に向けて、教職員全員一丸となって教育活動に励んでいる。子どもたちは元気に登校し、落ち着いていると聞いている。なお、当該教員については、警察の捜査の推移を注視するとともに、県教育委員会とも協議しながら厳正に対処していくことにしている。今後、より一層教職員の綱紀粛正に努め、教育委員会と学校が一体となって職務に励むことで信頼の回復に努めていきたいと考えている。

| (特になし)

○ 報告第1号 中央地区における教育施設の再整備に係る検討状況について(教育総務課)

(説明の概要) 議案書5、6ページ。「新たな学校規模適正化に向けた方針」に基づく、中央地区での中学校新設等については、昨年4月以降、関係地域の方々に対して説明し、また協議も行い、この教育委員会議でも報告してきた。同時に昨年9月末、有識者や地域関係者、学校関係者等からなる中央地区教育施設再整備検討懇話会を設置し、検討を開始した。本日はその状況について報告する。

1. 検討の経過については、第1回の懇話会を昨年10月2日に開催し、中央地区での教育施設再整備の必要性や中学校の新設に向けた考え方などを基に検討を始めた。11月30日の第2回懇話会では、同一敷地内に学校と図書館等の施設が整備されている他都市の事例視察を行うとともに、金沢市公文書館(仮称)整備基本計画検討委員会からの要望も示し、意見交換を行った。その後、

12月20日に開催した第3回懇話会では、中央地区における教育施設の再整備に係る課題と対応について検討し、これらを踏まえて去る1月12日の第4回懇話会では、中央地区教育施設再整備検討懇話会からの意見の骨子案を検討した。その内容について順次説明する。

2. 中央地区の教育施設再整備の必要性については、「世界の交流拠点都市金沢 重点戦略計画」や、それらに基づく「金沢市中学校通学区域再編計画」「新たな学校規模適正化に向けた方針」による校区重複型通学区域の見直しと中学校の規模適正化を図るため、小將町中学校の中央地区への移設と通学区域の見直しが背景にある。

3. 再整備に向けた基本的な考え方には四つあり、「(1)現在の中央小学校の中学校としての活用」は、小將町中学校の規模適正化の解消などに向け、通学環境や既存の施設状況などを踏まえ、中央小学校を改修し、中学校の校舎として活用するという考え方である。「(2)玉川こども図書館の敷地への中央小学校の移転」は、市有地を有効活用するため、玉川こども図書館の地に中央小学校を移転し、建設するという考え方である。「(3)小学校の建設と併せた玉川こども図書館の改築」は、旧JTの建物を使用している現在の玉川こども図書館の建物は築後40年を経過しており、一部老朽化が見られることから、小学校と併せて建設するという考え方である。「(4)金沢市公文書館(仮称)整備基本計画検討委員会からの要望」は、公文書館の整備について別途検討していた委員会から、玉川こども図書館の改築に併せ、公文書館が同一建物内に整備されることが望ましいとの要望があったものである。

4. 再整備に向けた主な課題としては、今ほど申し上げた基本的な考え方を踏まえ、本懇話会において検討された9点が挙げられる。(1)小学校、こども図書館等建設のための敷地の確保、(2)図書館等利用者のための駐車場の確保、(3)図書館利用者の利便性と児童の安全確保との整合、(4)中学校の教育活動に備えた整備、(5)こども図書館の機能の維持、(6)こども図書館と玉川公園の関係性の維持、(7)こども図書館の改築に併せた公文書館の整備、(8)良好な都市空間の確保、(9)地域住民の施設利用と近隣住環境等への配慮である。

5. 検討懇話会からの意見の骨子(中間報告)は、今ほど申し上げた九つの課題に関する現時点での懇話会としての意見である。全部で10点にまとめてある。(1)学校用地等の確保。小学校およびこども図書館の用地については、玉川公園を一部(2,300m²程度)活用し、約10,000m²とする。これに伴い、中央地区全体の緑被率を確保するため、松ヶ枝緑地の再整備を検討する。敷地面積の考え方を図に示した。玉川公園の北側部分の一部、玉川図書館の南側の境界付近まで(矢印で示してある部分)が約2,300m²なので、ここを活用し、約10,000m²を新しく用地とする意見である。

(2)駐車場の確保。敷地を有効活用するため、地下駐車場や施設の一部地下化を検討する。限られた敷地を有効活用し、必要な施設設備等を行うに当たって、地下の活用を検討する必要があるという意見である。再整備に必要な建物の床面積は、資料記載のとおり、概算を算出した。小学校は設置基準に基づく、校舎、体育館を合わせて計約7,300m²、こども図書館は事務局内で試算した結果、約2,600m²、公文書館は、公文書館の検討委員会からの要望では書庫、閲覧室などを合わせて計400m²の床面積となる。こうした延べ床面積の建物を当該敷地に建築することは可能だが、必要な駐車場の整備、ゆとりのある建築も考慮した場合、地下駐車場や建物の一部地下化を検討する必要があるという意見である。

(3)児童の安全確保。児童の安全確保のため、こども図書館を小学校とは別の独立した施設とする。不特定多数の方が利用する図書館などと小学校を同一敷地内に整備する場合、これまで以上に児童の安全性の確保が求められることに加え、別の独立した建物とすることで、学校の充実した教育活動の継続・発展や、こども図書館の担う役割・機能もより一層発揮することが可能と考えられるという意見である。

(4)中学校の施設整備。現在の中央小学校校舎を活用した中学校については、必要な施設改修を行う。現在の小將町中学校と中央小学校は、校舎、体育館の全体の施設規模は同程度で、中央小学校を中学校として活用した場合でも十分対応可能である。しかし、特別教室の配置など、中

学校の教育活動に備えた改修工事が必要である。

(5) こども図書館の機能の維持。こども図書館の改築に当たっては、整備方法や内部空間の在り方について十分に検討するとともに、さらなる役割や機能の充実を図る。こども図書館は子どもの読書活動を総合的に推進する拠点であり、児童の読書活動の活性化や読書の普及活動などの機能・役割を担っており、改築に当たってもこうした機能の一層の維持向上を図るとともに、現在の玉川公園の利用形態も考慮し、さらなる利便性向上のための整備方法を検討する。

(6) 玉川公園の一部改修。玉川公園は、近隣住民等にとって憩いと潤いの空間であることから、再整備に当たっても現在の形状を大切にしながら、必要に応じて樹木の移植や遊具等の移設などの一部改修を行う。

(7) 知的資源の集積。古文書を保存する近世史料館、郷土資料を保存する玉川図書館に隣接するこども図書館に、歴史公文書を保存する公文書館を併設することで、歴史的・文化的価値の高い知的資源の集積を図る。公文書館は明治の市制施行以後の歴史公文書を保存する施設であり、近接するこども図書館との整備によって、近世史料館等の利用者の利便性向上を図ったり、本市の歴史・市政に興味関心を持ってもらったりするようさまざまな仕掛けを行いやすい環境となる。また、小中学校が子どもの発達段階に応じて、こういった施設を教育活動で活用することにより、学びの連続性が形成されるなど、相互に連携した施策や活動の展開が期待できる。

(8) 文教地区にふさわしい整備。周辺の景観との調和を図るとともに、近隣の住環境に配慮し、文教地区にふさわしいまちづくりにつなげる。中央地区は中央小学校や芳齋分校などの教育施設、また玉川図書館や近世史料館などの生涯学習関連施設、そして玉川公園などの公園が位置している良好な都市空間であることから、こうした地区の特性を踏まえ、周辺の景観との調和を図り、日照時間、騒音など周辺の居住環境に配慮した適正な施設配置を検討する。

(9) 周辺交通環境の改善。周辺の交通環境の改善に向け、渋滞状況の詳細な調査と再整備とを併せた改善策を検討する。学校の長期休業期間中や土日祝日などの時間帯を中心に、玉川こども図書館前の都市計画道路橋場・若宮線を中心に交通渋滞が発生する傾向があることから、交通状況の調査、教育施設の再整備を併せた対応策を検討すること。また、地下駐車場の配置などにより、図書館などの利用者の利便性の維持向上、学校施設の再配置に伴う児童生徒の安全な通学環境の確保を図る。

(10) 地域とともにある学校づくりの推進。地域の文化スポーツ活動の他、育友会活動、地域学校協働活動、放課後児童クラブなど、地域と共にある学校づくりを推進する。小学校の建設に当たっても、今後とも地域と共にある学校を目指し、地域開放スペース、放課後児童クラブなどについて、地域住民の意見を踏まえながら検討する。また、小中学校での教育活動での市立図書館の利活用、学校と地域の市立図書館との連携を促進する。

去る1月12日の懇話会で、各委員からはこの他、敷地の有効活用として、地下の利活用を十二分に図ってほしいという意見もあった。また、具体的に例えば、運動場の砂の飛散防止などもあるので、周辺に配慮した整備方法を考えてほしいという意見もあった。この他、この地区の教育環境が整ってくると、新たな魅力となり、住民や市民を引き付けることになるという意見や、新たに小学校や中学校が整備され、こども図書館が改築されることに大いに期待しているという意見も頂いた。今後、こうしたさまざまな意見を踏まえ、今月末に予定している次回の懇話会において、最終的な意見の取りまとめを行うとともに、引き続き、関係する地域の方々への説明、協議を行っていききたいと考えている。

田邊委員

現在のこども図書館の場所に、用地を拡充しながら小学校を建設するというので、こども図書館と小学校は別の独立した施設とするとありますが、建物自体も別なのでしょうか。

また、中学校が現在の中央小学校の校舎に移動するというのですが、中学校は教育活動もさることながら、部活動が活発に行われますので、テ

ニスコートに関しては明記されていますが、部活動に必要な場所の確保は
どうなるのでしょうか。

それから、今の報告は中間報告ということですが、最終的な報告はいつ
提示されるのでしょうか。

加藤教育総務課長

小学校とこども図書館を別の独立した施設にするということで、懇話会
から最終意見として頂ければ、私どもとしては建物自体を別の独立した建
物とする方向性で、設計等の関係部署と協議していきたいと考えています。

中央小学校における部活動に関する質問については、全体の敷地面積は
現在の小将町中学校とほぼ同程度の 13,000m²強です。また、中央小学校は
開校当初 4 小学校が統合されてできた小学校で、児童数も 1,000 人規模を
想定された学校でした。現状は 500 名強で、クラス数は普通教室が 26 あり
ます。クラスの大きさは、基本的に小学校も中学校も同じで、小将町中
学校は現在 16~17 教室です。校舎そのものについては、子どもの数が規模適
正化によって増加しても十分可能ですが、ご指摘のとおり、部活動に関
する部分があります。そのあたりについては、まず柔剣道場の整備は校舎の
中で行うことは可能です。柔剣道場の整備など校舎の改修工事を行う中で、
運動場については一定程度の確保に努めることは可能だと考えています
が、テニスコートについては、現状では敷地面積の中では難しいだろうと
考えています。現状、具体的にどこということとは申し上げる状況にありま
せんが、私どもとしてもこの意見を踏まえ、整備の際には十二分に検討し
て、適地を見つけていきたいと考えています。

今後のことについては、本懇話会は、今月末を予定している第 5 回を最
終回とします。第 4 回で頂いた意見なども踏まえて、またこの間も引き続
き地域の方々に説明していますので、そのような意見も反映しながら、次
回の第 5 回をもって一応の取りまとめを図りたいと考えています。その後、
2 月に入ってから、市に対して報告書を提出することを想定しています。

田邊委員

独立した施設とするかどうかは、意見を踏まえて設計などを検討される
ということですが、場所柄、学校に配置されている司書や学校図書館と図
書活動の一体的な展開があってもいいと思いました。組織上は別ですが、
行き来の便であるとか、場合によっては学校司書が図書館司書を兼ねて教
育活動を活発にすることを積極的に考えてもいいと思います。もちろん玉
川図書館は大人向けの図書館でもあるので、そこは一定の線引きが必要
でしょうが、建物の設計上もこども図書館との一体化が行われて、行き来
が活発に行われてもいいと思います。

山田教育次長

先般、他の自治体の施設等も視察してきた中で、一般の方と子どもたち
の安全確保という意味では、ある程度の区分けが必要だろうということで、
皆さんの意見も踏まえて、今回こういう形にしました。ただ、おっしゃる
とおり、これから詳細な設計等に入る中で、やはり考えていくべき事柄は
あると思います。

それから、公立図書館と学校との連携は非常に大事だというのは委員か
らの希望にもあって、(10) の最後の方には、学校と市立図書館の連携を掲
げています。ハードの部分では限界があるかもしれませんが、ソフト部分
での連携はわれわれも必要だと思っています。

中学校の学校施設の件については、中央小学校の敷地と小将町中学校の
敷地を考えたときに、校舎を含めて体育施設がそこに移転することは、わ
れわれは可能だと思っています。ただ、テニスコートだけが難しく、テニ
スコートについては敷地外で考えていきたいと思っています。ここで具体
的には申し上げられませんが、いろいろな方法を考えながら、今後進めて
いきたいと思っています。

スケジュールの件は、教育総務課長からもあったとおり、意見を取りま

とめた上で、今後順次、予算を含めて整備に向けて進めていきたいと思
います。いつということはまだ申し上げられませんが、できる限り早く教育
環境を整備することが大事だと思っていますので、早期に実現できるよう
に取り組んでいきたいと考えています。

岡委員

検討懇話会では十分いろいろと意見が出されているようにお見受けしま
すが、あの辺をよく通る者として、準幹線 599 号三社・高岡町線は結構混
雑しているよう気がします。学校および施設の玄関は、599 号の方に向い
ていて、本町・白菊線も通り抜けの車がありますが、提案としては本町・
白菊町線に玄関があった方がより安全ではないかと思ひます。一つの意見
として言わせていただきました。

加藤教育総務課長

懇話会の中でも、地域の方々が委員になっておられる関係から、この近
辺の交通状況、車だけではなくて高校生の自転車通学が非常に多い地区で
あること、または規制のある中であっても、車が入ってくる状況があるな
ど、さまざまな指摘がなされています。そんな中で、どのように交通状況
を改善しつつ、子どもたちの通学環境を改善していくのかという観点で、
施設の配置の在り方を検討することも必要だと思っています。今ほど委員
がおっしゃったことも念頭に置きながら、配置の在り方等について検討し
ていきたいと思っています。

岡委員

もう 1 点、玉川公園についてです。都心に緑地があるのは金沢の一つの
魅力だと思いますが、通ると暗い感じがします。公園の整備まではこちら
の担当ではないかもしれませんが、学校の設備ができた後、子どもたちの
安全性も含めて、周辺が少し明るくなるように配慮いただけたらいいの
ではないかと思ひます。これも意見です。

加藤教育総務課長

玉川公園については、数年前に再整備が行われた後、特に地元の方々を
中心に随分と利活用されていますし、思いもあるとお聞きしています。ご
指摘のとおり、玉川図書館の西側部分と玉川こども図書館の南側部分を比
較すると、若干濃淡があるような整備の仕方です。一方、昔から見ると、
随分と見通しも良くなったというご意見もお聞きしています。再整備の際
には、今ほどのご意見を踏まえて、公園担当部署とも検討していきたいと
思っています。

大島委員

今回の図書館等も含めた整備は、これまでの統合と比べて規模的にさら
に大きな開発で、保護者や地域の方も非常に注目されていました。特に小
将町の子供たちについては、大きく通学路が変更になると考えられてい
るので、そのあたりも地域の方や保護者に丁寧に説明しながら、話を進め
ていただきたいと思ひます。

加藤教育総務課長

先般、馬場小学校区の方々ともお話しさせていただきましたが、若干な
がらも中学校の距離が遠くなることを懸念しておられることについてお聞
きしたところです。この話が進むにつれて、さまざまな部署とも連携しな
ければならないと思ひますが、私どもも検討課題としています。

山田教育次長

これまでも学校の位置が変わった場合や統合した場合、通学路が変わ
る際には地域の方々もそうですし、警察関係者あるいは道路管理者と通学
路を確認しながら、新たな通学路を設定する作業を行っております。今回
も特に中学の場合、通学環境が少し変わるということで、そのあたりも警
察や道路管理者等と協議しながら、安全な環境の創出に努めていきたい
と思ひます。

○ 報告第2号 第3回金沢市教育実践セミナーの開催について（教育総務課）

（説明の概要）議案書8ページ。本市では、平成27年10月に学校教育を通したひとづくり、生涯学習を通したひと・まちづくりを目指し、金沢市教育行政大綱を策定し、現在その実践に努めている。今年度、各学校や各地域等によりさまざまな教育活動などに携わる方々を対象に、本市の進める教育施策への理解を深めるとともに、今後の本市教育の振興についてみんなで考える契機とすることを目的に、専門家や職員による全3回のセミナーを開催し、これまでに昨年9月26日の第1回、11月21日の第2回を開催した。第2回は河野教育委員にご講演いただいた。1回目、2回目ともおおむね100名の方々のご出席を頂き、大変好評を頂いた。第3回は1月30日（火）15時から、場所は金沢歌劇座大集会室、テーマを「家庭・地域の教育力の向上」「生涯を通じた学びの支援」とし、開催することになっている。当日は金沢美術工芸大学教授で本市社会教育委員の桑村佐和子先生に、『『子ども』から見た世界―学ぶ意欲を見守る―』と題してご講演を頂く予定である。

| （特になし）

○ 報告第3号 平成29年度「金沢市いじめアンケート」の調査結果について（学校指導課）

（説明の概要）議案書10ページ。調査目的、実施時期、調査対象、調査人数等については、記載のとおりである。なお、全集計結果については、別添資料に示している。

調査結果の概要を説明する。高等学校においては1校のみのデータなので、ここには特記していない。まず問3の結果については、小中学校ともに「ア 冷やかし、からかい」の割合が高くなっている。中学校では「イ 仲間はずれ、無視」も多く、「ク インターネットで悪口」が増加していることも危惧される。ささいな兆候でも積極的に関わり、組織的かつ迅速に対処することや、ネットいじめについては、保護者への啓発も含め、情報モラル教育の充実を図ることが必要と捉えている。

問5、6の結果で危惧されるのは、「いじめられていても誰にも相談しない」と回答している子が小中ともに2割程度見られることである。自ら相談しにくい子もいることから、教師の方から休み時間等に積極的に声掛けをし、相談しやすい雰囲気をつくることが大切と捉えている。

問7、8の結果で危惧されるのは、「相談しても、どうせ解決しない」と回答している中学生が多いことや、「相談した後、いじめられなくなった」と回答している中学生が減少していることである。この結果を重く受け止め、いじめは絶対に許されないという指導とともに、学校生活の中での心ない言動へ毅然とした対応をすることで、先生に相談すれば何とかかなるという信頼関係を構築していくことが必要と捉えている。

問12の結果では、いじめをした理由として「イ なんとなく」「ウ むしゃくしゃしたから」が小学校で増加していることや、「エ みんながするから」という理由が小・中ともに増えていることが危惧される。善悪の判断がつかない衝動的な行動が多くなっているとも考えられ、授業や活動中の心の安定を保つ指導や、子どもたちの自己肯定感を高める指導も大事であると捉えている。

問13の結果では、「いじめられる人にも悪いところがある」と思っている子が小・中ともにまだ3割もいることが危惧される。道徳の授業等を通し、いじめという行為についてより深く考える機会を継続的に取り入れていくことが必要であると捉えている。

このアンケートの結果については、校長会や生徒指導担当の連絡会に示し、指導の在り方について確認したり、詳細なデータを各学校に配信し、自校の結果と比較させたりしながら、各学校の実情に応じた指導の徹底を図る機会にしたいと考えている。

河野委員

| 金沢市いじめアンケートはいつから取られているのかを教えてください。別添資料は、前年度比較で見るとあまり変化がないので、もう少し長

いスパンで見たときに、どういう変化があったのかを知りたいです。それから、最初の年、あるいは5年、10年ぐらいのスパンでどのぐらい変化したのかというデータを一度出してほしいです。

新村学校指導課長

このアンケートは平成18年度より実施しており、10年以上経過しています。平成25年から、前回お示しした携帯電話・インターネットアンケートを実施しており、このときに項目が少し変わっていますが、それ以外の項目はほとんどこのままで実施していますので、委員から希望があった長いスパンでの結果も今後、お示ししていきたいと思っています。

田邊委員

長い間続けてきているアンケートですが、質問や質問の項目立ても、平成18年からずっと一貫して取り組まれてきたのでしょうか。

新村学校指導課長

平成25年より携帯電話・インターネットアンケートを実施し、そのときに一度見直しています。それまでははじめアンケートの中で、細かく携帯電話等のことを聞いていたのですが、平成25年からこのアンケートに変わったので、その部分を少し見直した点が大きな変化です。その他については、例えば別冊資料2ページの問5は、昨年度は「黙って我慢した」という選択肢でしたが、平成29年度は「何もしない」理由を明らかにしたかったので、「ア 我慢できたので、何もしない」「イ 相談できず、何もしない」という選択肢にしました。このように子どもたちの回答を見ながら幾つか修正した部分があります。

田邊委員

例えば、問3の「どんないじめを受けていますか」の回答として、「ウ 遊ぶふりをしてたたかれる」「エ ひどくたたかれる」など、たたかれるにも度合い分けがあったり、項目に関してもそのときの状況もあったりするでしょうから、一貫して問うことで変化を見ると同時に、そのあたりの見直しも必要な点があれば、また工夫していただければと思います。

新村学校指導課長

今ほどの意見を受けまして、今後また見直しを図りたいと思います。

○ その他 (1) 平成29年度金沢市立工業高等学校卒業予定者の進路状況について

(説明の概要) 議案書11ページ。今年度の卒業予定者は239名で、そのうち就職希望者は全体の約60%の145名、進学希望者は40%の94名だった。本校の就職希望者の割合は、例年6割程度で推移しており、昨年度は就職が7割に達していたが、今年度は例年並みの6割に戻った。就職希望者のうち内定者は1月9日現在で134名、内定率は92.4%である。このうち9割の生徒が石川県内の企業・団体に採用予定であり、主な就職先は資料に記載のとおりである。内定者数に入っていない11名については、その後、徐々に内定しており、公務員の結果待ちの生徒もいる。最終的には希望者全員の就職が決定する見込みである。

一方、進学については、資料に記載のとおり、大学等に76名の進学が決まっている。残りの生徒は一般入試で大学進学を目指している。引き続き、卒業生全員が希望の進路に進めるように、学校全体で取り組んでいく。

| (特になし)

以 上

会議録署名

教育長 署名

教育委員 署名

(大島委員)

[非公開議案の審議結果について]

○ 議案第1号 教育委員会所管の委員会等の委員の委嘱等について（図書館総務課他）

(1) 金沢市図書館協議会委員の委嘱について

金沢市図書館条例第10条第2項の規定により、下記のとおり金沢市図書館協議会委員を委嘱します。

1 委員の委嘱

氏名	所属団体・機関及び役職	備考
平野友昭	金沢市学校図書館協議会会長	再任
福森義宏	金沢大学附属図書館館長	
関戸正彦	金沢市公民館連合会会長	
中島秀雄	金沢市社会教育委員	
谷内きみ枝	金沢市PTA協議会副会長	新任
眞鍋知子	金沢大学准教授	
志賀紀雄	金沢市読書会連絡協議会会長	再任
岡満雄	金沢こども読書研究会副理事長	
川淵功	公募委員	新任
安田慎一	公募委員	

2 任期

2018年2月1日から2020年1月31日まで（2年間）

3 理由

任期満了による委嘱

(2) 金沢市立工業高等学校教員育成協議会委員の委嘱について

金沢市立工業高等学校教員育成協議会要綱により、下記のとおり金沢市立工業高等学校教員育成協議会の委員を委嘱します。

1 協議会委員

(敬称略・順不同)

区分	氏名	役職名等
大学関係者	大谷実	金沢大学人間社会学域学校教育系教授
校長	小酒正明	金沢市立工業高等学校長

	能波 裕司	金沢市立額中学校長
任命権者	川口 勝	金沢市教育委員会学校職員課長
	新村 裕二	金沢市教育委員会学校指導課長
	熊谷 有紀子	金沢市教育プラザ研修相談センター所長

2 任期

2018年1月24日から2018年3月31日まで

以 上